

## 当面の病床機能転換等の一覧（和歌山保健医療圏構想区域）

No.	医療機関名	将来目指す医療機能の方向性 (令和元年11月29日付け医第11290001号 「病床機能の現状及び今後のあり方等 に関するアンケート」結果より)		転換等の内容	転換の時期
1	和歌山労災病院 (※1 再掲)	A	救急医療を含めて高度急性期 機能や急性期機能を担う病院	転換 1 病棟を脳卒中ケアに特化し、高度急性期として整理 ＜転換後の機能別病床数＞ 高度急性期50床、急性期253床	令和3年8月
(報告)	谷口病院 (※2)	C	(主として)療養病床を有する病院	介護療養病床8床を医療療養病床へ転換 ＜転換後の機能別病床数＞ 慢性期43床(現行と同じ) ＜転換後の入院基本料＞ 療養病棟入院基本料1	令和4年度

※1 前回(第11回)協議事項としていたものと同じ内容

※2 医療機能の転換を伴わないため、報告のみ

病床機能の転換・廃止等について

医療機関名

和歌山労災病院

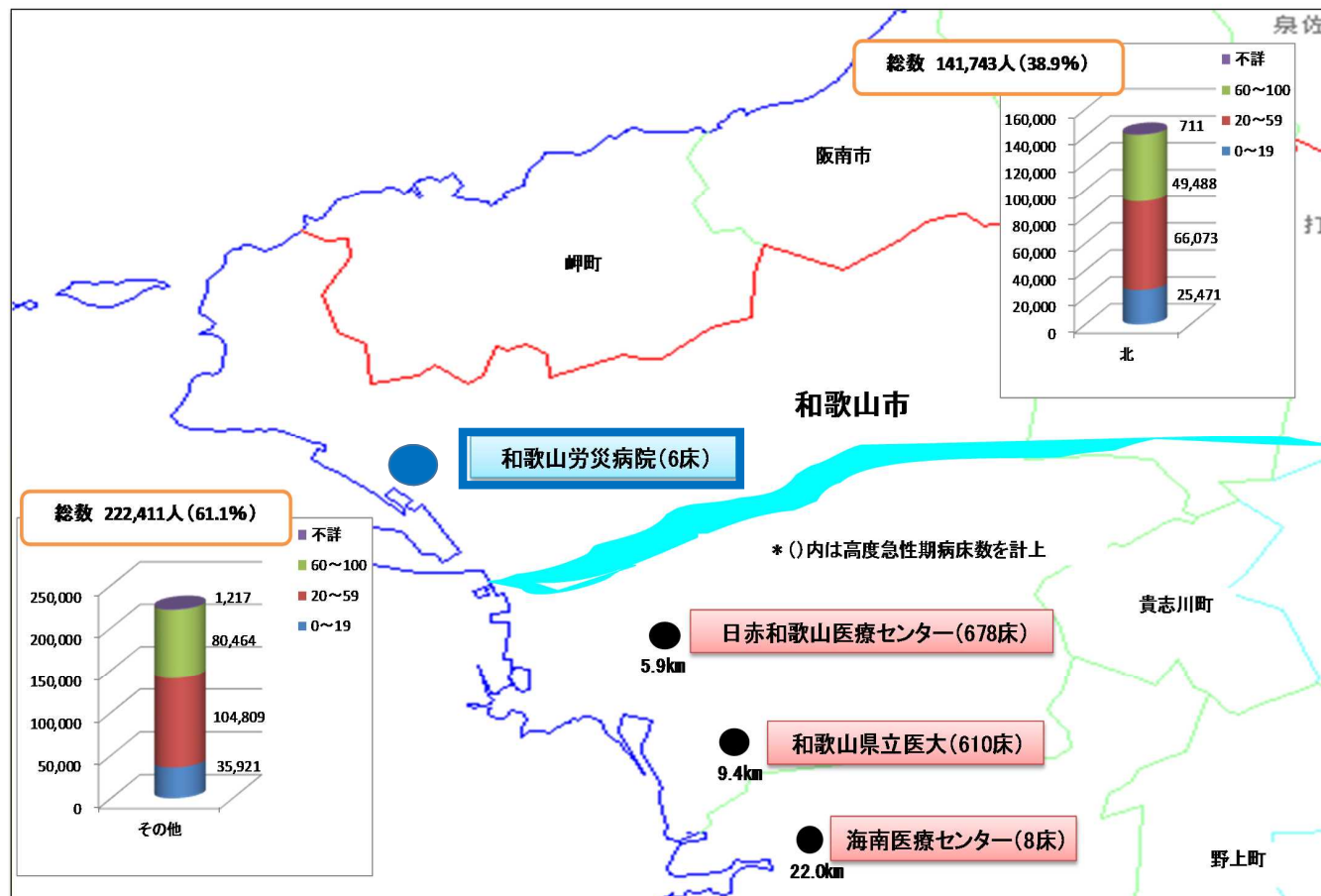
現在の病床機能【概要】				
<令和3年7月現在>				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	稼働率
高度急性期	1	特定集中治療室管理料3	6	
急性期	6	急性期一般入院基本料	297	
回復期	0		0	
慢性期	0		0	
計	7	—	303	—
(備考)				

今後の病床機能【概要】				
<令和3年8月以降>				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	(定員)
高度急性期	2	特定集中治療室管理料3・急性期一般入院基本料	50	
急性期	5	急性期一般入院基本料	253	
回復期	0		0	
慢性期	0		0	
介護医療院	0		0	
計	7	—	303	
(機能転換・病床数変更等の概要) 急性期297床のうち、44床を高度急性期に転換。				

現在の病床機能【詳細】
当院は、高度急性期病床としてICU病棟6床（特定集中治療室管理料3）、急性期病床297床（急性期一般入院基本料）を有す303床の病院です。 和歌山市河北・河西地区に位置し地域医療に貢献をすべく、急性期病床から高度急性期病床への転換を検討し「救急医療」「地域医療連携」「政策医療」「災害医療」への取組をさらに推進する。

機能転換・病床数変更後における病院・診療所のあり方
平成17年からt-PA静注療法が日本でも認可され、当院でもストロークホットラインで搬送されて発症後4.5時間以内の患者に実施している。当院のICUは6床のみで全診療科収容のため入床に限界がある。ストロークホットラインで搬送され、脳血管内治療を実施した患者を受け入れる一般病床（44床）において、安全に配慮した医療環境を整備するため脳卒中ケアに特化した病棟として体制整備し、急性期病床から高度急性期病床への転換を図る。
<地域密着型協力病院指定申請の予定の有無等> <div><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 指定済み</div>

## 和歌山市における高度急性期病床数と人口割合



## 和歌山労災病院 東4階病棟(44床)における

令和2年度 年度平均 63.3%  
令和3年度 年度平均 71.0%

## 脳血管疾患 月平均利用率推移

